

関西・高機能金属展 非鉄関連も多数

第5回関西・高機能金属展(メタル大阪)が9日、インテックス大阪(大阪市住之江区)で開催された。非鉄関連の素材メーカーや加工企業などが出展し、銅、アルミ、チタン、マグネシウムなどの新技術や新製品を披露した。本展覧会は1日まで開催される。



日本メタルセンターの展示ブース

今回は協会・企業など、仲調が「建機向けで約30のブースが出展。生産が統一的な日本仲調協会の(同社)という特殊高台同ブースでは、日本力質銅「ビロープロ

ンズ」を展示。開閉伸銅(京都府亀岡市)は、家庭用金具などを実験を上げていく中、高品質鋼製「ミトール」、権田金属工業(神奈川県相模原市)は、銅製部品・リングやブスバー曲げ加工機、UACI銅管は、非鉄用耐火継手

「RUPレス」、サンエツ金属は、銅製配管材料を展示した。日本メタルセンターのブースでは、銅製の優れた殺菌効果を持つ「アル」。

などのアイテムが紹介された。このほか、三菱仲調の養殖イケア用銅

協会合同ブース、新技術PR

露企業も販路開拓に意欲

合金線「U&S鋼」、熱マグネシウム合金などを展示した。コベルコマテリアル銅管は、細径内面溝付銅管、明石台銅(石川県白山市)は、ダイカスト銅ローターを展示した。日本アルミニウム協会の合同ブースでは、昭和電工アルミ販売(大阪市)が、高純度アルミ板の「T60シリーズ」、片木アルミニウム製作所(大阪府堺市)は、高耐食アルミフィン材や板、変形チタン、日本延平(滋賀県東近江市)は、スラックやパンク加工品、開閉伸銅は、平角や丸パイプを出展した。日本マグネシウム協会の合同ブースでは、不二ライオン(熊本県宇土町)が、生体吸収性マグネシウム合金「UMADAI銅



「同機、大阪市)は、炭素化チタン複合セラミック「スライアスト」、高純度化学研究所(埼玉県坂戸市)は、金属粉末やチタンゲット材を披露した。オリパスは、ハードヘルド光学レンズの設計をはじめ、超精密加工機を展示した。海外からの出展社と皮膜や白色皮膜について解説した。

各種合金の加工品を並べて展示。非鉄関連のコーナー(東京都港区)は、高純度銅管や合金粉末、銅管を見つけていきたい(同社)と販路開拓に意欲を見せた。ハイメット(ロシア)は、チタン材料のほか各種レアメタル、銅・ニオブ系超硬材料を展示した。今回は、関西技術セミナーとして8日間、10講演を予定。9日は日本合金協会が「アルミニウムの表面処理の現状と今後」の題で、アルカリエッチングや電解処理など処理工程の役割や特長のほか、陽極酸化皮膜の歴史や最近のトレンドである硬質皮膜や白色皮膜について解説した。